

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	草加市					
提案事業名	未来につなぐ「草加の輪」プロジェクト					
事業期間	令和2年度		～	令和2年度		
成果指標	(成果を検証する指標) イベント参加者におけるコロンビア共和国を身近に感じるようになった市民の割合					
	(成果検証の具体的な方法) オリンピック・パラリンピック教育時や出前講座、イベント時に、アンケートを実施し、回答をもって検討する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	Ⓐ B C	
	従前値 (R2年4月時点)	0%	目標値 (R3年3月時点)	40.0%	実績値 (R3年3月時点)	71.9%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページにおいて公表する。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 文化・教育事業	◎ △ ×	オリンピック・パラリンピック関連イベントにおいて、コロンビア大使館の協力を受け、コロンビア共和国の文化の紹介や事前キャンプの交流時のパネル展示等を行った結果、コロンビアを身近に感じる人が増加した。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	当事業を通し、イベント参加者にホストタウンとしての周知及び同国の文化の理解を深めてもらうことができた。 また、ホストタウンについて記載した「草加市オリンピック・パラリンピックガイド」を市内全小中学校、高校の児童生徒に配布し、周知を図った。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントでのホストタウンの周知が困難であったため、イベント以外での周知方法をさらに検討していく必要がある。

成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後以降も同国との交流を継続できるよう、ホストタウンの周知や選手団とのオンライン交流等を計画的に実施していきたい。
---------------------	---